

### 4 - 3 御前崎菱形基線測量結果(3)

#### Deformation of Omaezaki Rhombus (3)

国土地理院 測地部・地殻活動調査室  
Geodetic Division and Crustal  
Activity Research Office.  
Geographical Survey Institute

御前崎菱形基線の測量結果は今までに2回報告されている<sup>1)2)</sup>。1973年10月に第3回の測量が行なわれたので、その結果について報告する。

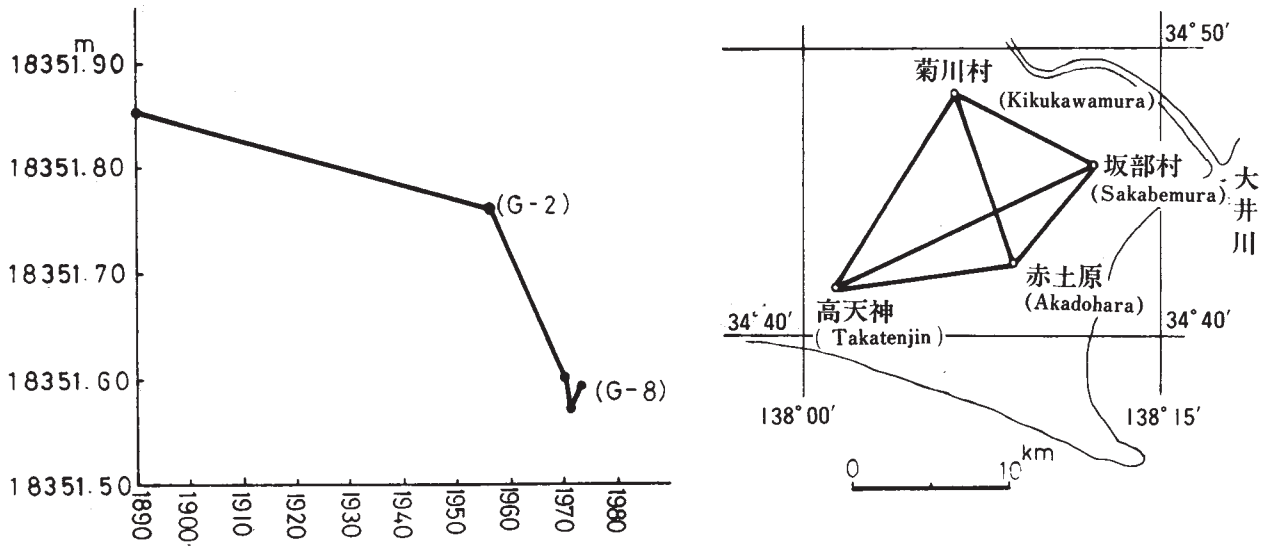
第1表に今日までの全結果と各時期ごとの差を示した。これらの差は、有意な地殻変動を示しているというより、測定値のバラツキが±1cm程度以下であることを示しているといえよう。使用機械はジオジメーター8型である。

第1図に、明治以来の測定値が比較できる高天神・坂部村間の辺長の変化を示した。1970年以後の3回の測定値はその平均値を考えると、1890年より1956年までの歪速度は $0.7 \times 10^{-7} / \text{year}$ 程度であり、1956年より今日までの歪速度は約 $6 \times 10^{-7} \text{year}$ で、さいきん歪速度が増大しているといえる。たゞし、このことを定量的に確定するには明治成果および1950年のジオジメーター2型による測定値の信頼度について、くわしい検討を行なわなくてはならない。また、今後とも、現在行なっている高精度の測量をくりかえしてそのなりゆきを監視していく必要がある。

なお、第1図中の高天神・坂部村間の辺長は三角点相互の距離を示し、第1表中の高天神・坂部村間の辺長は上記三角点近くに設置された菱形基線端点相互の距離を示していて、両者の間にはわずかの差がある。第1図中の最近め端点間の成果は三角点間の距離に化成してある。

#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院地殻活動調査室, 東海地区(御前崎近傍)菱形基線測量結果, 連絡会会報, 5, 44 - 45, 1971
- 2) 国土地理院地殻活動調査室, 御前崎菱形基線測量結果(2), 連絡会会報, 7, 36 - 37, 1972



第1図 御前崎菱形基線（右）と高天神・坂部村間の辺長の変動（左）

Fig. 1 Location of Omazeki Rhombus (right) and change of the distance between Takatenjin and Sakabemura (left). Measurement in 1956 was carried out by Geodimeter 2 and recent three measurements were by Geodimeter 8.

第1表 御前崎菱形基線の變動

Table 1 Deformation of Omazeki Rhombus.

	1970 <sup>I</sup> — 10	II — I	1971 <sup>II</sup> — 11	III — II	1973 <sup>III</sup> — 10
菊川村—赤土原	11091. <sup>m</sup> 760	+0. <sup>m</sup> 003	11091. <sup>m</sup> 763	+0. <sup>m</sup> 003	11091. <sup>m</sup> 766
“ —高天神	14416.276	-0.000	14416.276	+0.006	14416.282
“ —坂部村	9981.062	-0.025	9981.037	+0.021	9981.058
赤土原—高天神	11460.009	-0.008	11460.001	+0.003	11460.004
“ —坂部村	8030.764	-0.013	8030.751	+0.014	8030.765
高天神—坂部村	18346.647	-0.029	18346.618	+0.023	18346.641